日本ハム株式会社

企業コメント

日本ハムグループの社会的責任
★日本ハムグループは、すべてのステークホルダーに対して誠実にその責任を果たし、信頼される企業となるよう、「日本で一番『誠実』と言われる企業グループ」を目指してコンプライアンス活動に取り組んできました。今年度からの新中期経営計画ではコンプライアンス活動を一歩進め、企業理念の実現を目指して、社会に対する責任を積極的に果たしていく方針を明確にしています。
★食に携わる企業として、「食べる喜び」を多くの方々にお伝えするため、工場見学（OPENファクトリー）、お料理教室、手作り体験、子供たち向けのイベント開催などを通じて、「食育活動」を推進しています。
★日本ハムグループがお客様へご提供する商品についても、「安全・安心」はもちろんのこと、「満足」し「感動」いただける商品・サービスを開発し続けています。
「環境」への取り組み
★日本ハムグループは、1998年に「環境宣言」を行い、同年に「環境憲章」を制定しました。以来、これらを基軸として、様々な環境活動を推進してきました。
1999年には、食肉業界初となるISO14001の認証を取得し、2009年12月時点において、国内外23拠点においてISO14001の認証を取得しています。
★事業活動により発生する温室効果ガスや廃棄物等の削減活動に加えて、茨城県、愛知県、兵庫県の3カ所において、森林保護を目的とした「みんなの森林」活動を展開しています。また、「森林」の大切さをまとめた冊子「親子で学ぶ環境教室」を制作し、従業員のみならず、一般の方々への啓蒙活動にも努めています。
★2008年度は3ヵ年計画の最終年度となり、目標達成に向けて日々改善活動を行ってきました。結果、CO2排出量の削減をはじめ6項目の目標のうち3項目は目標を達成することができましたが、水使用量の削減等3項目は目標を下回るものとなりました。
★2011年度の目標達成に向けて2009年度から新た目標を設定し、活動を行っています。今回の目標設定では、食品廃棄物の発生量抑制や有効活用は重要な問題と位置づけ、目標に組み入れています。あわせて地球温暖化対策や水資源の有効活用など、事業活動の中で、効率的に取り組みを進めていきます。
★2009年度よりカーボンフットプリントを表示した商品を発売し、これまで取り組んできたLCAを商品に表現することにより一層推進していきます。